

第1回 旧豊田貯水池利活用懇談会資料

目次

1. はじめに	1P
2. 検討の体制	1P
3. 関連する郡山市の計画・取組みの整理	3P
4. これまでの検討内容	5P
5. 利活用に係る着眼点	6P
6. 旧豊田貯水池を取り巻く概況	7P

1.はじめに

旧豊田貯水池は、約360年に亘りため池及び貯水池として本市発展の礎としてその役割を果たしてきたが、浄水施設統合に伴い平成25年に機能を停止して以降、後利用方針が未確定である。

このことから、本市まちづくりの方向性との整合を図りながら、当該貯水池の歴史的意義を踏まえて将来につながる利活用方針案を定めるものである。

2.検討体制

(1) 旧豊田貯水池利活用懇談会（有識者懇談会）

①設置目的

- 旧豊田貯水池の歴史的な価値及び市民共通の貴重な財産であることの重要性を鑑み、有識者の立場から利活用に関する意見交換を行う。
- 検討内容については、旧豊田貯水池の有効活用に関する方向性、またその目的達成のために必要なこととする。
- 懇談会では幅広い可能性について意見交換を行い、イメージ案作成の参考にする。

②主な議事（予定）

日程	議事内容	留意点
第1回 (6/25)	・旧豊田貯水池の利活用(案)について	様々な観点から意見交換し、 幅広い可能性・方向性 を示す
第2回 (8/30 予定)	・利活用方針(案) ・イメージパース(複数案)	イメージパース(複数案)について比較検討する
第3回 (11/13 予定)	・イメージパース(最終案) ・今後の課題	イメージパース(最終案)について協議する

③委員数

10名（有識者等7名及び市職員3名）

④委員想定分野及び選定の視点

No.	分野	分野選定の視点
1	環境	SDGs、グリーンインフラ、地球温暖化対策
2	環境教育	環境教育
3	防災	防災・減災
4	歴史	下ノ池の歴史的価値
5	都市計画	まちづくりの視点
6	こども	こどもの健康増進（遊び場）
7	健康	市民の健康増進
8	行政	

(2) 庁内推進体制

①設置目的

- 旧豊田貯水池利活用検討の推進を図るため、「郡山市旧豊田貯水池利活用検討推進本部」を新たに設置し、情報共有等を行うものとする。（副市長、部局長級で構成）

②検討内容

日程	検討内容
5/20	本部の設置及び今後のスケジュール等について
10月中旬	懇談会での意見及びイメージパース案について
12月下旬	懇談会において選考された最終案について

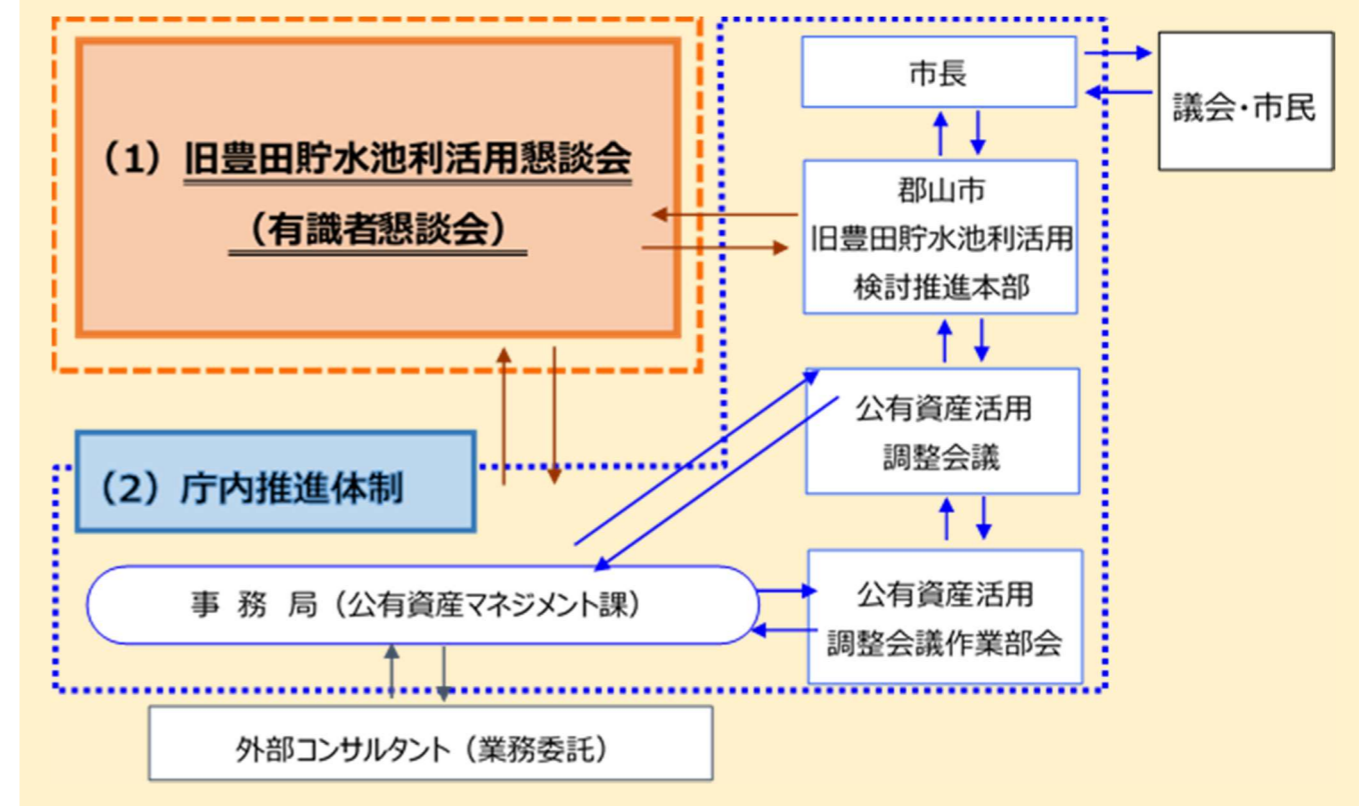
※推進本部以外での検討

- 「郡山市公有資産活用調整会議」、「郡山市公有資産活用調整会議作業部会」での検討

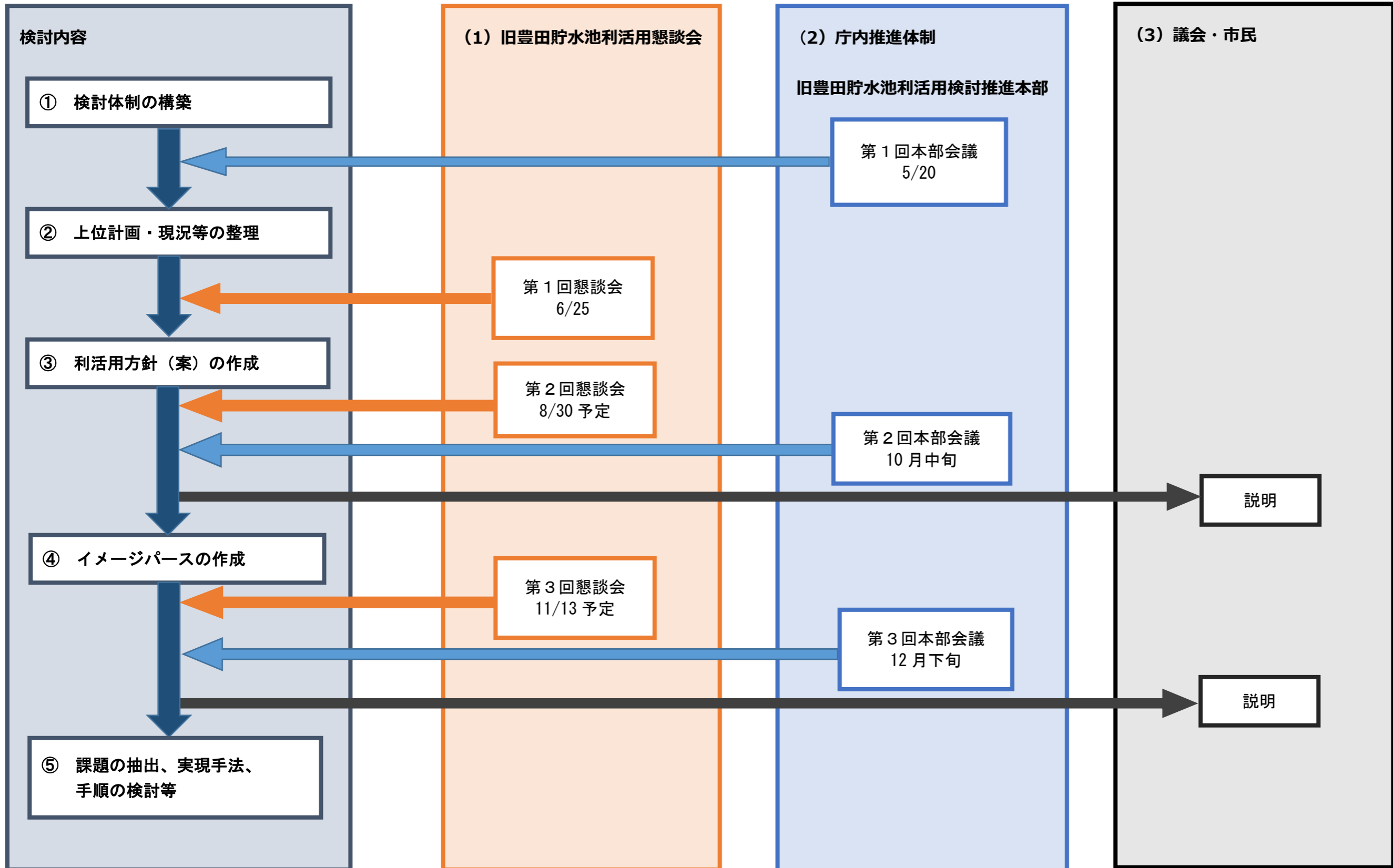
(3) 議会・市民等への周知

- 有識者懇談会へイメージ図を提示するのと併せ、議会への提示、ウェブサイト等による市民への公表を行う。

【検討体制図】



【検討フロー図】



3. 関連する郡山市の計画・取組みの整理

(1) 郡山市まちづくり基本方針 H30.2

●郡山市の目指す未来（将来都市構想）

「みんなの思いや願いを結び、未来(あす)へとつながるまち 郡山」
～課題解決先進都市 郡山～

●分野別の将来構想

I. 「産業・仕事の未来」

1. みんなが誇れる「郡山といえばこれ!」という産業があるまち（商工業振興・企業誘致・流通・起業支援）
2. 楽しくてやりがいのある満足できる仕事のまち（雇用・就労環境）
3. 農林業が盛んで、市民の身近な産業となるまち（農業振興・林業振興・6次産業化）

II. 「交流・観光の未来」

1. 人が交流し、明るい声が聞こえるまち（都市間交流・国際交流）
2. **国内外に発信できる、自慢の地域資源があるまち**（歴史・文化財・文化芸術振興・物産振興・地域の誇り）
3. たくさんの人が「また来たい」、「住んでみたい」と思えるまち（シティプロモーション・観光・コンベンション・広域観光・移住促進）

III. 「学び育む子どもたちの未来」

1. 人と人がつながり、みんなで子どもたちを育むまち（乳幼児教育・家庭教育・子育て支援・少子化対策）
2. **笑顔があふれ、未来への夢を育むまち**（青少年健全育成・子どもの安全・安心・遊び場）
3. 一人ひとりの個性を伸ばし、すべての子どもが輝くまち（学校教育・教育環境・高等教育連携・産学官連携）
4. 子どもたちが学んだことを楽しく学び、地域で活躍できるまち（地域学習・図書館・読書活動）

IV. 「誰もが地域で輝く未来」

1. **市民生活に活気があり、地域で楽しく元気に暮らせるまち**（市民協働・地域コミュニティ）
2. 好きなこと、得意なことを地域で学び生かせるまち（生涯学習）
3. 市民が互いに支えあい、一人ぼっちにならないまち（地域福祉・国民健康保険・介護保険・国民年金）
4. 誰もが健康で生きいきと暮らせるまち（高齢者福祉・障がい者福祉・健康づくり・保健医療）
5. 女性が元気で活躍できるまち（男女共同参画）

V. 「暮らしやすいまちの未来」

1. **環境にやさしく自然豊かな、住んでいてよかったなと思えるまち**
（エネルギー・生活環境・自然環境・ごみ対策・不法投棄対策）
2. **誰もが安心して快適に暮らせるまち**（消防・防災・市民安全・浸水対策・治山治水）
3. すべての人が安心して円滑に移動できるまち（交通体系・公共交通・広域交通）
4. **豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち**（都市計画・街路道路橋りょう・住環境・上下水道・公園）

(2) 2019年度SDGs未来都市等提案書 サマリー R1.6

●SDGsとは

国連で決められた、2030年までに世界をより良くするための17の目標のこと。

国においては、「SDGs未来都市」を全国から30都市程度選定し、支援を進めている。

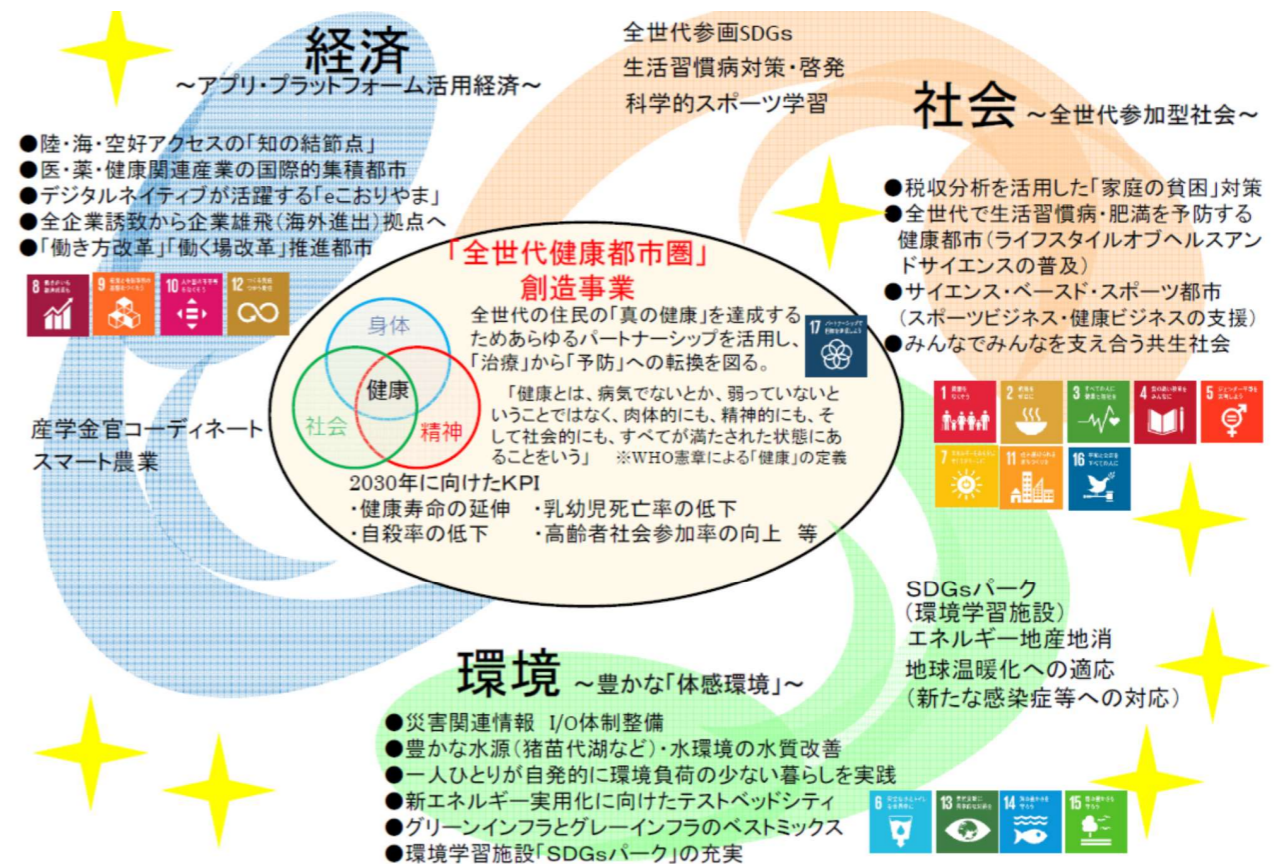


●SDGsに関する郡山市の主な取組み（2018～2019年度）

- 郡山市まちづくり基本指針への導入（2019年度の事業を17のゴールごとに位置づけ）
- SDGs日本モデル宣言（2019.02.28）
- SDGsの基礎的理解の向上・周知啓発活動
セミナー、ワークショップ、フォーラム開催
ポスター、サイネージ、ウェブサイトによる周知
小中学校との連携（出前講座の開催等）
国内外関係自治体、地元高校等と連携した情報発信
- 内閣府地方創生SDGs官民連携プラットフォーム参加

郡山市では、2019年度のSDGs未来都市の選定に向けて活動を推進中

●2030年のあるべき姿（こおりやま広域都市圏）



出典：2019年度SDGs未来都市等提案書

(3) 郡山市都市計画マスタープラン 2015 H27.6

●基本理念、将来都市構造

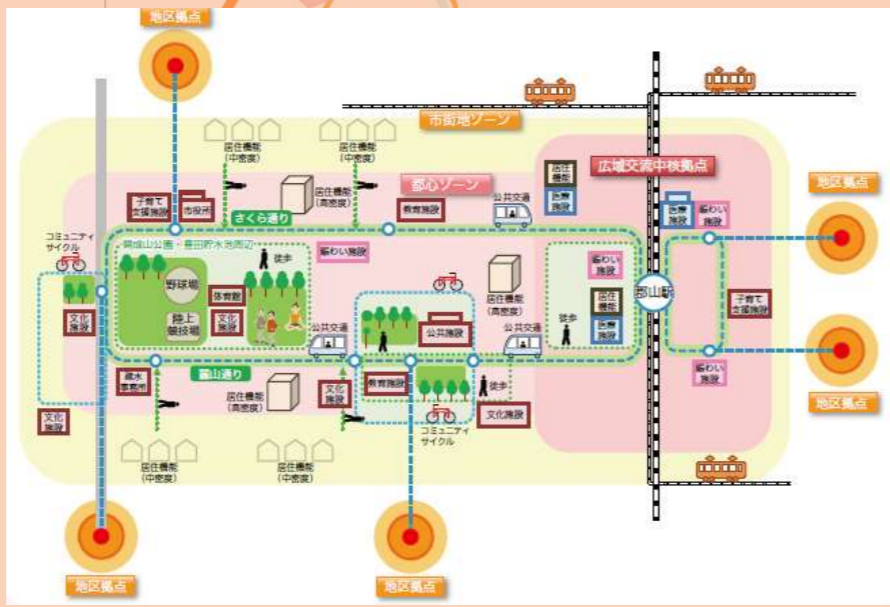
市民が輝くまち 郡山
『開拓の歴史を生かした躍動感あるまちづくり』



●都市づくり基本方針

方針2 市街地を東西につなぐ「歴史と緑の生活文化軸」の形成

豊田貯水池・豊田浄水場跡地については、郡山市の市街地形成のシンボルとして、**隣接する開成山公園との役割分担**に留意しつつ、**健康増進や憩いの場、災害時における避難場所としての機能**の確保を目指し、跡地利用について検討します。



出典：郡山市都市計画マスタープラン 2015

(4) 郡山市低炭素まちづくり計画 H28.3

●将来像

すべての市民が暮らしやすい持続可能な環境負荷の少ないまちづくり

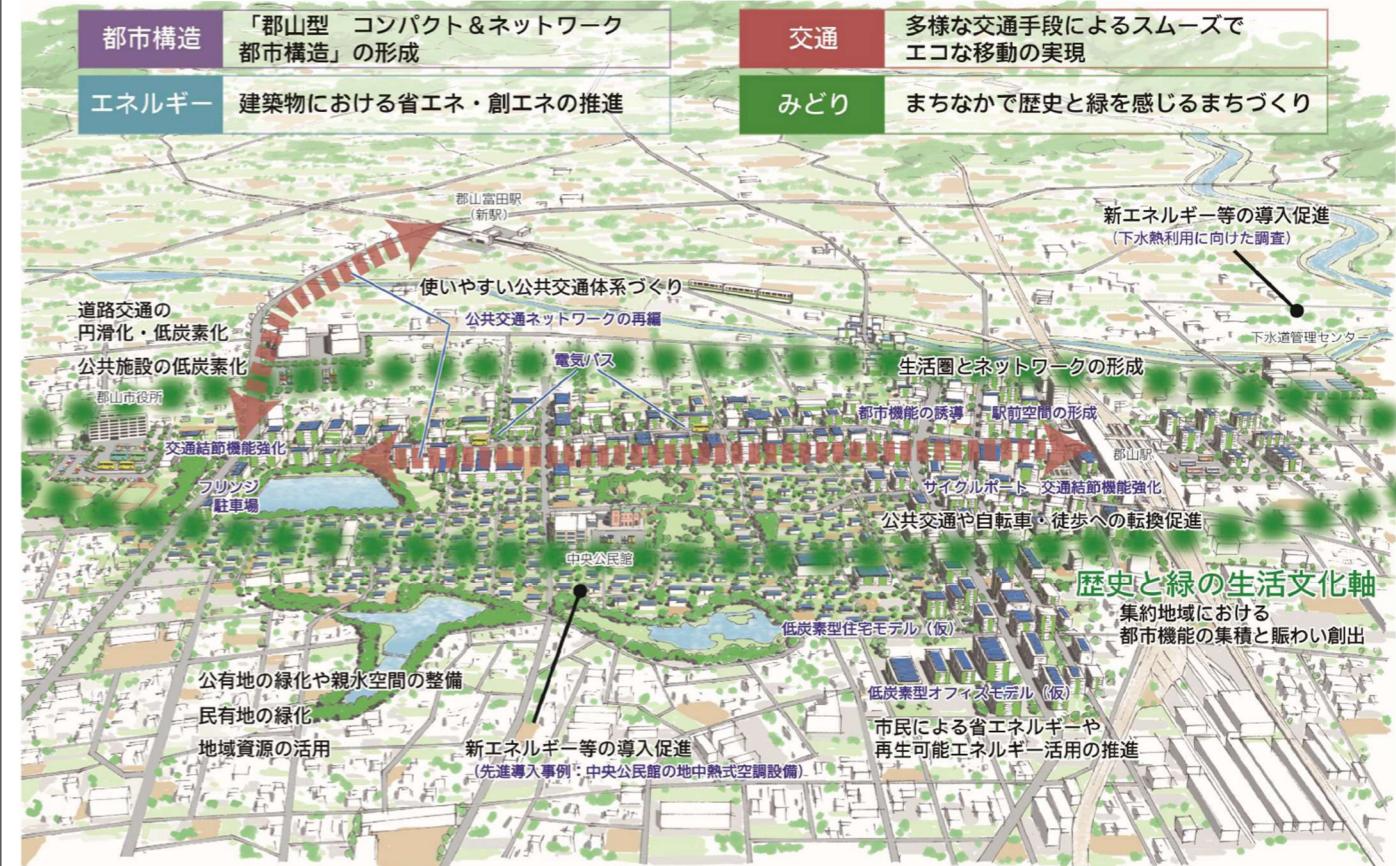
●目標

目標1 エネルギー消費の少ない、再生可能エネルギー等の活用による低炭素なまちの形成
家庭や事業所、交通からの排出量を削減するために、各部門で効率的な活動が行われるようなまちの仕組みづくり

目標2 人口密度が維持され、市民に使いやすい拠点と公共交通が一体となったまちの形成
人々の生活圏と都市施設のサービス範囲を相互に勘案した、コンパクト&ネットワーク都市構造のまちづくり

目標3 高齢者が健康に、安心して暮らせるまちの形成
高齢者等の交通弱者の視点を十分に盛り込み、有効な交通ネットワークを組み込むとともに、**緑の潤いと憩いにあふれた**、歩いて暮らせるまちづくり

●全体像



出典：郡山市低炭素まちづくり計画

4. これまでの検討内容

(1) 庁内の検討内容

①会議での検討内容

時期	会議名・回数・メンバー	検討内容
H21.9.1 ~H25.4.15	庁内検討会（13回） 【まちづくり政策課主催、農地林務部、水道局、公園緑地課】	・利活用にあたっての現状と課題等の分析や情報の共有等
H25.5.7 ~H25.7.4	水質保全対策会議（4回） 【農林部主催、原子力災害対策直轄室、総合政策部、生活環境部、建設部等、都市整備部、下水道部、水道局、まちづくり政策課、環境保全センター】	・浄水施設の停止による貯水池の管理の検討 ・活用（整備）方針が決定するまでの期間について、排水及び暫定整備（種子吹付け）、維持管理（除草）を行う
H25.6.12 ~H28.2.5	浸水被害対策本部（7回） 【建設交通部主催、総務部、総合政策部、財務部、農林部、都市整備部、下水道部、生涯学習部】	・貯水池の管理の検討と併せて異常気象による集中豪雨対策としての活用を検討 → 旧豊田貯水池雨水流入路整備事業を行わない (H27.8.11 ゲリラ豪雨時第5配水池の雨水貯留に一定の効果が確認されたため)
H27.11.30 ~H30.9.3	旧豊田貯水池整備にかかる 公有資産活用調整会議作業部会 【財務部主催、総合政策部、農林部、建設交通部、都市整備部、下水道部、原子力災害総合対策課、水道局、総務部、政策開発部、文化スポーツ部、生活環境部】	・旧豊田浄水施設撤去事業のスケジュール等について情報共有 ・上下水道局敷地等周辺地域との関係性を視野に入れて総合的に検討 ・庁内で 水辺空間の創出 について検討 → 安積疏水の水源の確保は難しい
H28.11.21 ~H31.2.13	公有資産活用調整会議（3回） 【財務部 主催】	・公有資産活用検討特別委員会からの提言書を協議

②その他の検討

○福島大学農学系学部の立地関係

- H28.3 郡山市長、議長連名で「福島大学農学系学部の立地に関する要望書」を学長、知事に提出
- H28.7 福島大学記者発表（立地場所：福島市金谷川キャンパス、開設年度 H31）

○地盤調査

- H29.11.27~H30.3.30 ボーリング調査等を実施
→ **堤体・池底ともに安定した支持層あり・総合的に安全性に問題なし**

③議会での答弁で言及した施設の方向性

- **浸水被害対策への活用**
- **市の魅力ある都市景観の貴重な水辺空間**
- **歴史的な役割を踏まえた学習への活用**

議会での質問に対して、市としては一貫してこの3つの方向性で答弁

(2) 議会による検討内容

公有資産の有効活用に向けた提言書 H29.6.28

- ・旧豊田貯水池跡地はいまだに利用計画が決まっておらず維持管理費のみが発生している。
- ・旧豊田浄水場跡地の一部について、当面、安全性を確保のうえ、**駐車場や自由広場等**として**暫定利用**できるよう、必要最低限の整備に向け対応すること。
- ・また、将来の利用計画についても、早急に検討していくこと。

※豊田貯水池跡地の利活用について市議会においても多数言及

H24年9件、H25年16件、H26 8件、H27 10件、H28 12件、H29 12件、H30 6件、H31 2件

(3) 市民等の意見

議会による市民意見調査報告書

調査期間：H29.1.12~H29.2.10 回答者数：872人

調査方法：公共施設へのアンケート用紙設置、インターネット、対面調査（H29.2）

- ・旧豊田貯水池跡地の最終的な利活用方針に関する設問では、「**周辺の公共施設の駐車場として整備する**」が最も多い。
- ・次いで、新たな「**公共施設と駐車場を整備する**」が多い。
- ・その他の回答としては、**音楽堂や体育施設、子供のための施設**などが挙げられている。



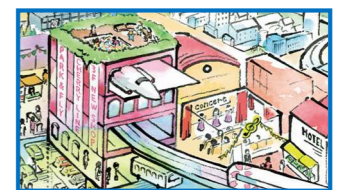
出典：公有資産活用検討特別委員会 市民意見調査報告書

郡山グランドデザイン Project 会議（郡山市商工会議所）H30.11.20 記者発表

コンセプト 「うまれる つながる かなでる るるる♪ わたしの郡山」
郡山の未来を描く12の提言

提言 貯水池を含む旧豊田浄水場跡地の利活用

- ・ **地下駐車場の設置**（パークアンドライド）
- ・ バス・モノレールまたは LRT（ライトレールシステム）、2020年代に実用化を目指す「空飛ぶクルマ」などの**ターミナル**
- ・ 利用に関する自由度の高い**広場**とし、市民の憩いの広場・イベント会場として利用



イメージ図

提言 みんな集まる「基地@このまちのサードプレイス」

- ・ 街なかに、大人も子どもも世代を超えて集まる**交流基地**を多数設置
- ・ 誰もがまちづくりに参加できる拠点「シビックプライドセンター」の設置
- ・ 空き地を活用した**イベント基地**の設置。ライブやシネマシアター、マルシェ等自由に使える場所とする



イメージ図

出典：H30.11.20 記者発表資料

5. 利活用に係る着眼点

(1) 関連する郡山市の計画・取組みの整理

項目	ポイント	着眼点
郡山市まちづくり基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 国内外に発信できる、自慢の地域資源があるまち 笑顔があふれ、未来への夢を育むまち 市民生活に活気があり、地域で楽しく元気に暮らせるまち 環境にやさしく自然豊かな、住んでいてよかったなと思えるまち 誰もが安心して快適に暮らせるまち 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち 	歴史・文化 こども・市民交流・健康 みどり・環境 防災 まちづくり
2019年度SDGs未来都市等提案書サマリー	<ul style="list-style-type: none"> 創造事業 全世代の住民の「真の健康」を達成 環境～豊かな「体感環境」～ (グリーンインフラとグレーインフラのベストミックス) 	こども・市民交流・健康 みどり・環境
郡山市都市計画マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> 郡山市の市街地形成のシンボルとして、隣接する開成山公園との役割分担に留意して利活用方針を検討 市民の健康増進や憩いの場 災害時における避難場所 	歴史・文化 みどり・環境 こども・市民交流・健康 防災
郡山市低炭素まちづくり計画	<ul style="list-style-type: none"> まちなかで歴史と緑を感じるまちづくり 高齢者が健康に、安心して暮らせるまちの形成 	歴史・文化 みどり・環境 こども・市民交流・健康

(2) これまでの検討内容

項目	ポイント	着眼点
①庁内	<ul style="list-style-type: none"> 浸水被害対策への活用 ※集中豪雨対策としての活用は、浸水被害対策本部において検討済み（旧豊田貯水池雨水流入路整備事業は行わない） 郡山市の魅力ある都市景観の貴重な水辺空間 ※旧豊田貯水池整備にかかる公有資産活用調整会議作業部会において検討済み（安積疏水の水源の確保は困難） 歴史的な役割を踏まえた学習への活用 	防災 歴史・文化 みどり・環境
②議会 公有資産の有効活用に向けた提言書	<ul style="list-style-type: none"> 旧豊田浄水場跡地の一部について、安全性を確保のうえ、駐車場や自由広場等として暫定利用できるよう、必要最低限の整備に向け対応 将来の利用計画についても、早急に検討 	まちづくり
③市民等意見 市民意見調査報告書	<ul style="list-style-type: none"> 最終的な利用方法としては、駐車場（32.2%）、新たな公共施設と駐車場（27.5%）、水辺空間を活かした公園（16.0%）、子供のための施設など 	まちづくり
郡山グランドデザインProject	<ul style="list-style-type: none"> 地下駐車場の設置 交通結節機能（ターミナル） 利用に関する自由度の高い市民の憩いの広場・イベント会場（イベント基地） 	まちづくり こども・市民交流・健康

(3) 旧豊田貯水池の利活用方針に係る着眼点

着眼点①：歴史・文化

- 郡山市の歴史・文化の伝承、親しみの醸成
- 子どもたちの学びの場

着眼点②：みどり・環境

- まちなかで緑を感じる潤いの空間
- SDGsの達成に資するグリーンインフラ

着眼点③：こども・市民交流・健康

- 市民が集う活気あふれる空間
- 高齢者をはじめとする全世代の健康福祉の増進
- 子どもが遊べる空間

着眼点④：防災

- 災害時の避難場所として市民の安全・安心を形成
- 周辺施設（開成山公園、21世紀記念公園等）との役割分担・連携

着眼点⑤：まちづくり

- 郡山市の中心エリアの魅力向上
- 交通結節機能の形成

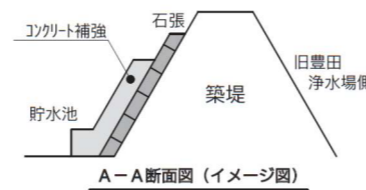
6. 旧豊田貯水池を取り巻く概況

(1) 歴史的遺構

旧豊田貯水池における以下の①～④の地点は、安積疏水の歴史的遺構を色濃く残す場所となっている。



① 貯水池内面石張 明治44年(1911年)近代水道創設時に内面補強
 ② 安積疏水流入水路 明治44年に安積疏水の水を貯水池に引込むために設置した煉瓦造りの水路
 ③ 石張のみ(コンクリート補強無し) 貯水池の南側は築堤ではないため、コンクリート補強がない。
 ④ 石張及びコンクリート補強 貯水池を安定的に維持管理するため築堤部をコンクリートで補強



(2) 近隣の概況

防災

- 耐震性貯水槽
- 備蓄倉庫
- ヘリポート

みどり・交流

- 野球場
- 陸上競技場
- 屋内プール

歴史・みどり・交流

せせらぎこみち

防災

- 耐震性貯水槽
- 備蓄倉庫

交流・健康

- 交流施設
- 遊具

歴史・文化

- 開成館(県指定重要有形文化財)
- 安積開拓官舎(旧立岩一郎邸)(市指定重要有形文化財)
- 安積開拓入植者住宅(旧小山家)(市指定重要有形文化財)
- 開成山大神宮
- 旧福島県尋常中学校本館(旧安積高校本館)(国指定重要有形文化財)

歴史・文化

- 五十鈴湖
- 開成山の桜

みどり・交流

- 桜
- 遊具

歴史・文化

- 安積疏水麓山の飛瀑(国登録有形文化財)

出典：日本遺産ポータルサイト、郡山市観光協会 HP、21世紀記念公園麓山の杜 HP